

2017年（平成29年）5月 支部だより

昨年、4月の総会で、前支部長柴原氏の後任として、支部長に選任された須山岱央（すやまたかひさ）と申します。

野洲支部は、現在205名の会員で構成され、9名の幹事で、行事の企画から実施をしています。行事参加者の顔ぶれが、なかなか広がらず、苦慮しています。今後行事の種類をひろげたり、参加者の幅を広げるように、工夫をしてゆき、少しでも多くの会員に楽しんでいただけるようにしたと考えています。

そもそも野洲工場は、神奈川県藤沢工場を母体に、1971年に電子部品の生産工場として、スタートしました。2000名を超える社員は、関西圏の出身者が約半数、そのほか、約半数。

工場から、琵琶湖は、直線で、約4キロ。近辺は、20年くらいで大変開発が進み、滋賀県内でも湖南地域として、最も開発が進んでいると言われています。

琵琶湖は、皆さんご存知のように、関西地域の水がめといわれており、大変重要な役割をはたしていますが、面積は、滋賀県全体の約5分の1といわれており、観光、ショッピングなど、滋賀の人々には、強いつながりがあります。

親鴨会の行事も、花火大会の鑑賞、ハイキング、ゴルフなど、琵琶湖とのふれあいが多いいと言えます。

野洲支部の課題は、行事参加者がなかなか広がらないということで、なんとか、魅力的な行事を増やし、参加者の層をひろげたいと考えています。本部のみなさん、各支部のみなさん、良いアイデアがあれば是非、アイデアを頂きたいと思います。よろしく願いいたします。

以上

親鴨会野洲支部 支部長 須山岱央